



## 激動の時代を

## 手を取り合って五十年

### 金婚・長寿婚祝式典

今年金婚式を迎えるご夫婦を祝福する第三十二回金婚夫婦祝式典と、八十五歳以上の夫婦を祝福する長寿婚祝式典が、九月一日、市社会福祉センターで開かれました。金婚式は高知新聞社などの

主催で毎年開かれているもので、今年が高知新聞創刊八十五周年に当たることから長寿婚も併せて祝福。市内では三十六組のご夫婦が金婚式を、また四組のご夫婦が長寿婚を迎えました。式典では神事後、高知新聞

## いつまでもお元気で

### 市長が百歳以上の

### 長寿者を訪問して激励

敬老の日を前にした九月四日、市内の百歳以上のお年寄りの長寿を祝って、小笠原市長らが訪問し、記念品を贈りました。

市内の百歳以上の方は奈路出身で土佐清風園に入所している県下最高齢者の西川古牟さん明治十八年二月一日生まれ、百四

歳と十市の細川徳衛さん(明治十九年十一月二十七日生まれ、百二歳)の二人の女性。

この日、市長や社会福祉協議会長の訪問を受けた西川さんは、羽毛はんでんなどの贈り物を手渡されると、手を差し出して市長と握手を交わすなど、百四歳



細川さんを訪問した市長

とは思えないほど元気な様子でした。

なお、細川徳衛さんは九月十日に老衰のため逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

## 各地区で敬老会

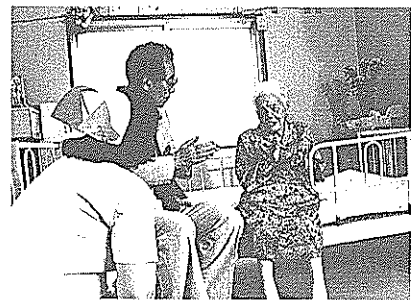
### 清風園には

### 知事が訪れる

社長の「皆様方の貴重な体験や見識は新時代への羅針盤である」とのメッセージが伝えられ、代表に記念品を贈呈。小笠原市長からも「我々は生きた歴史だと胸を張ってください」との祝辞が述べられました。



フラダンスに大かっさい



得意の歌で知事を歓迎する西川さん

健康で豊かな老後を過ごしてくださいと、敬老の日の九月十五日、各地区で敬老会が開かれ、集まった人たちは、歌あり踊りありの趣向を凝らした催しに、楽しいひとときを過ごしていました。

長岡西部体育館では、去年から同和学習などの活動をしているひばり学級(浜田玉意学級長の皆さんがフラダンスを披露。手作りのカラフルな衣裳で、ユーモアたっぷりに踊る姿に、会場は笑いの渦に包まれていました。

また、清風園には県内の最高齢者である西川古牟さんを知事が訪問。西川さんは看護婦さんらのリクエストにこたえ、得意の「お座敷小唄」を歌って歓迎していました。